

# 営農活動もひと休みして



営農活動も一段落した中、参加して頂いたJA組合員親睦ソフトボール大会とJAしずない女性部視察研修旅行を紹介します。ソフトボール大会では、年々参加者数が少なくなり、寂しくなりつつあります。組合員同士が交流する数少ない貴重な機会と思いますので、来年は多くの皆様のご参加をお待ちしています。



## JAしずない女性部視察研修旅行

8月5日から6日の2日間、JAしずない女性部(部長 木田正子 部員40名)では、14名が参加し、帯広方面に視察研修旅行を実施しました。

今回の旅行では、帯広競馬場で出走間近のばん馬や厩舎を見学するバックヤードツアーに参加し、芽室町ではアイスクリーム作りなど、どこに行っても笑いが絶えない賑やかさで、夏の十勝を満喫している様子でした。

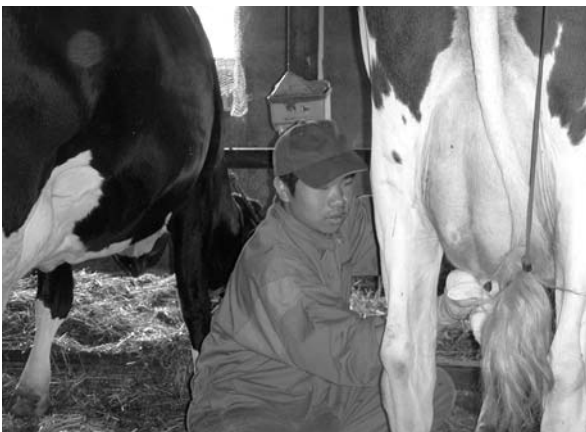


## JA組合員親睦ソフトボール大会

8月6日、静内川左岸緑地公園ソフトボール場で「第27回 JA組合員親睦ソフトボール大会」が行われました。

昨年は、雨天のため中止となりましたが、今年は一転、この夏一番とも言える厳しい暑さの中、大会が行われました。

決勝戦では、本沢Cチームが本沢Bチームを相手に劇的なサヨナラ勝利をおさめ、27回目にして初となる優勝を飾りました。



実習生の青木くんです。搾乳を頑張っています。

## 将来への第一歩？

### 農高生のインターンシップを受入

7月3日から5日までの3日間、静内酪農振興会(会員21名 会長 小池孝義)の会長を務める小池孝義さんが、北海道静内農業高校からインターンシップの受け入れを行い、実習を実施しました。

インターンシップとは、学業に就いている人が、自分の専攻や将来の職業選択のために就業体験することで、今回、このインターンシップを希望したのが、新冠町出身の2年生、青木拓也くんです。

実習は朝6時に飼料桶を洗うことから始まり、牛舎内の清掃、給餌飼料の準備、搾乳など一連の作業が行われました。

青木くんはこのような作業を通し、牛や周りの環境を清潔に保つことが、良質な生乳の出荷、そして、それが「食の安全・安心」へ繋がっていることを目や体で再確認した様子でした。

また、実習中は、小池さんのお宅で寝起きし、牛舎での作業が終わった後は、家で小池さんに質問を行い、勉強を続け、正に朝から晩まで牛搾乳の3日間となりました。

最後に青木くんは「将来、酪農の仕事をするかどうかはまだ決めていませんが、この3日間で学んだ様々なことを将来の自分に役立てていきたい。」と話していました。

(営農部生産課

遠藤正樹)